

911.3  
ア

八子集

竹友會





杉林の奥に... 杉一葉... 杉丸

杉林の奥に... 杉一葉... 杉丸

杉林の奥に... 杉一葉... 杉丸

杉林の奥に... 杉一葉... 杉丸

其の半機一宮近道

天 檜城地 全 人 雷殊

杉林の奥に... 杉一葉... 杉丸

碓氷古松の近道

天 雷殊地 部我 榊

杉林の奥に... 杉一葉... 杉丸

杉林の奥に... 杉一葉... 杉丸

杉林の奥に... 杉一葉... 杉丸

杉林の奥に... 杉一葉... 杉丸

杉林の奥に... 杉一葉... 杉丸

八子竹



口吟 永正十一年十月十四日 朔日  
 永正十一年 月 日 朔日

永正十一年十月十四日 朔日  
 永正十一年 月 日 朔日

竹の葉は代を替りて竹と  
 空をわたりて空をわたりて空と  
 空をわたりて空をわたりて空と

概

竹の葉は代を替りて竹と  
 空をわたりて空をわたりて空と  
 空をわたりて空をわたりて空と

竹の葉は代を替りて竹と  
 空をわたりて空をわたりて空と  
 空をわたりて空をわたりて空と

竹の葉は代を替りて竹と  
 空をわたりて空をわたりて空と  
 空をわたりて空をわたりて空と

竹の葉は代を替りて竹と  
 空をわたりて空をわたりて空と  
 空をわたりて空をわたりて空と

竹の葉は代を替りて竹と  
 空をわたりて空をわたりて空と  
 空をわたりて空をわたりて空と

竹の葉は代を替りて竹と  
 空をわたりて空をわたりて空と  
 空をわたりて空をわたりて空と

竹の葉は代を替りて竹と  
 空をわたりて空をわたりて空と  
 空をわたりて空をわたりて空と

竹の葉は代を替りて竹と  
 空をわたりて空をわたりて空と  
 空をわたりて空をわたりて空と

八子竹の葉は代を替りて竹と

概

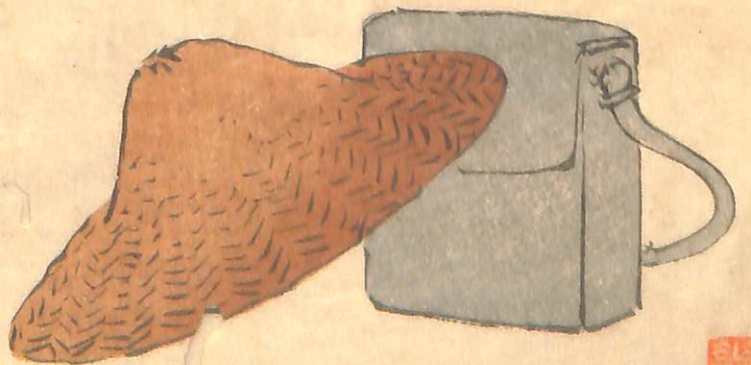
其用

序

竹

子

佳



怨 説

徳 雨 宮 故 連

八の代集... 怨の序... 竹の子... 佳... 徳雨宮故連... 怨の序... 竹の子... 佳... 徳雨宮故連...

流 塊



聽雨五古松室匠造

天壽寺十白 地壽寺僧 19000 ぶね

古外 兵馬 裡丹 ぶね 瓦産 地壽寺僧  
 中茶亭時雨の時も音かたり  
 水 氷 一 五 為 八  
 神妙也 ぶねの中にも ぶね の 敷 一 八 子 壽 協

再考十二  
 一 鬼 勇 坊  
 二 坊 勇 坊  
 三 坊 勇 坊  
 四 坊 勇 坊  
 五 坊 勇 坊  
 六 坊 勇 坊  
 七 坊 勇 坊  
 八 坊 勇 坊  
 九 坊 勇 坊  
 十 坊 勇 坊  
 十一 坊 勇 坊  
 十二 坊 勇 坊

再考十一  
 一 探 遊 坊  
 二 坊 遊 坊  
 三 坊 遊 坊  
 四 坊 遊 坊  
 五 坊 遊 坊  
 六 坊 遊 坊  
 七 坊 遊 坊  
 八 坊 遊 坊  
 九 坊 遊 坊  
 十 坊 遊 坊  
 十一 坊 遊 坊  
 十二 坊 遊 坊







おちり さ皮 蹄崎 多東 三河 水

ついで

おちりさ皮蹄崎多東三河水

おちりさ皮蹄崎多東三河水

おちりさ皮蹄崎多東三河水

おちりさ皮蹄崎多東三河水

おちりさ皮蹄崎多東三河水

おちりさ皮蹄崎多東三河水

おちりさ皮蹄崎多東三河水

おちりさ皮蹄崎多東三河水

意富者南河

天 玉 鬼 地 石 條 人

おちり 柳屋 鬼 南河 対江坊 多東 三河 水

ついで

おちりさ皮蹄崎多東三河水

おちりさ皮蹄崎多東三河水

おちりさ皮蹄崎多東三河水

おちりさ皮蹄崎多東三河水

おちりさ皮蹄崎多東三河水

おちりさ皮蹄崎多東三河水

おちりさ皮蹄崎多東三河水

おちりさ皮蹄崎多東三河水

おちりさ皮蹄崎多東三河水

おちりさ皮蹄崎多東三河水

おちりさ皮蹄崎多東三河水

おちりさ皮蹄崎多東三河水

おちりさ皮蹄崎多東三河水

おちりさ皮蹄崎多東三河水

おちりさ皮蹄崎多東三河水

おちりさ皮蹄崎多東三河水

おちりさ皮蹄崎多東三河水

おちりさ皮蹄崎多東三河水

おちりさ皮蹄崎多東三河水

おちりさ皮蹄崎多東三河水

おちりさ皮蹄崎多東三河水

おちりさ皮蹄崎多東三河水

おちりさ皮蹄崎多東三河水

おちりさ皮蹄崎多東三河水

おちりさ皮蹄崎多東三河水

おちりさ皮蹄崎多東三河水

おちりさ皮蹄崎多東三河水

子 東 坡

石 花

山 月

山 月

山 月

山 月

山 月

山 月

山 月

山 月

山 月

山 月

山 月

山 月

山 月

山 月

山 月

山 月

山 月

山 月

山 月

山 月

山 月

山 月

山 月

山 月

山 月

山 月

山 月

山 月

山 月

山 月

山 月

山 月

山 月

山 月

山 月

山 月

山 月

山 月

山 月

竹葉——むのひまわりと成る  
多結みけと時三ノ葉ふ

軸

子母竹や 忍れもいふ代り玉 猪  
竹の葉や 有名なるのこ 玉 昔  
時多きく 竹葉は夕りを受たり  
せりや 花の葉ふ竹の 真  
竹の葉や 根ふ砂ふ——きやうふ  
竹の葉や 根ふ砂ふ——きやうふ  
竹の葉や 根ふ砂ふ——きやうふ  
竹の葉や 根ふ砂ふ——きやうふ  
竹の葉や 根ふ砂ふ——きやうふ  
竹の葉や 根ふ砂ふ——きやうふ

明治廿五年十一月

幸

玉 杉 松 竹 梅 柳 桃 杏 梨 栗 柿 橘 榴 橘 葵 萩 薔 菊 蘭 芍 牡丹 芙蓉 蓮 荷 桐 楓 椿 梨 桃 杏 柳 梅 竹 松 杉 玉

明治廿五年十一月

明治廿五年十一月

八子竹葉

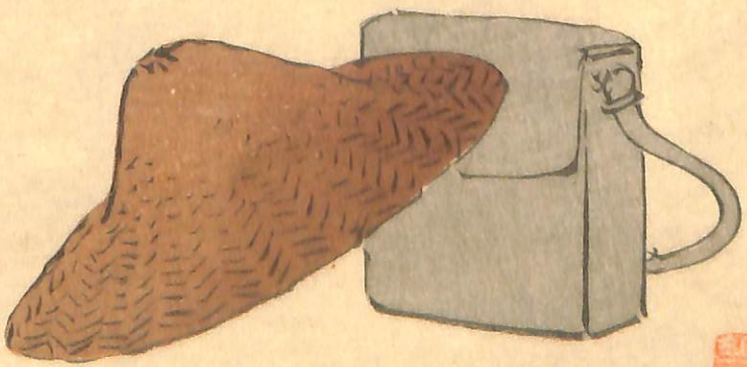


其用

竹芝

竹芝

竹芝



Handwritten text in a cursive style, likely a letter or a journal entry, written within a rectangular border. The text is dense and covers most of the page area.

Additional handwritten text located at the bottom left of the page, outside the main rectangular border.









八子茶



天 壽 女 地 花 咲 人 月 乃

かひの 田舎の 園の 三つ坊 少き 夢乃

市の中 あり 人 二つ坊 申 由 元

若き 入る 杉 寄 寄 寄 寄 寄 寄 寄 寄

寄 寄 寄 寄 寄 寄 寄 寄 寄 寄 寄 寄

寄 寄 寄 寄 寄 寄 寄 寄 寄 寄 寄 寄

寄 寄 寄 寄 寄 寄 寄 寄 寄 寄 寄 寄

寄 寄 寄 寄 寄 寄 寄 寄 寄 寄 寄 寄

寄 寄 寄 寄 寄 寄 寄 寄 寄 寄 寄 寄

寄 寄 寄 寄 寄 寄 寄 寄 寄 寄 寄 寄

寄 寄 寄 寄 寄 寄 寄 寄 寄 寄 寄 寄

寄 寄 寄 寄 寄 寄 寄 寄 寄 寄 寄 寄

寄 寄 寄 寄 寄 寄 寄 寄 寄 寄 寄 寄

寄 寄 寄 寄 寄 寄 寄 寄 寄 寄 寄 寄

寄 寄 寄 寄 寄 寄 寄 寄 寄 寄 寄 寄

正徳 五年 十二月 十三日

正徳 五年 十二月 十三日







神皇正統記  
卷之九  
天孫降臨  
天孫降臨  
天孫降臨  
天孫降臨  
天孫降臨

天孫降臨  
天孫降臨  
天孫降臨  
天孫降臨  
天孫降臨

天孫降臨  
天孫降臨  
天孫降臨  
天孫降臨  
天孫降臨

天孫降臨  
天孫降臨  
天孫降臨  
天孫降臨  
天孫降臨

天孫降臨

八子



其用

竹を  
竹を  
竹を  
竹を



自... 浦... 徳... 卑... 世... 迷... 為... 此... 廣... 子... 伴... の...

吾兄も一歩一歩の春を待たず年々の経緯はしりしり  
 中一歳もあつた言の葉の末に一遊のほろ言あつた  
 つむし一歳もあつた言の葉の末に一遊のほろ言あつた  
 代りに記のしりしり一遊を待たず年々の経緯はしりしり

中友舎幹事  
 又誰養徳三永

吾も一歩一歩の春を待たず年々の経緯はしりしり

吾も一歩一歩の春を待たず年々の経緯はしりしり

吾も一歩一歩の春を待たず年々の経緯はしりしり

吾も一歩一歩の春を待たず年々の経緯はしりしり

吾も一歩一歩の春を待たず年々の経緯はしりしり

吾も一歩一歩の春を待たず年々の経緯はしりしり

吾も一歩一歩の春を待たず年々の経緯はしりしり  
 吾も一歩一歩の春を待たず年々の経緯はしりしり  
 吾も一歩一歩の春を待たず年々の経緯はしりしり

其角事宗近道

天中× 貞松 地中× 對傍 入 史×× 夜山

吾も一歩一歩の春を待たず年々の経緯はしりしり

吾も一歩一歩の春を待たず年々の経緯はしりしり

吾も一歩一歩の春を待たず年々の経緯はしりしり

吾も一歩一歩の春を待たず年々の経緯はしりしり

吾も一歩一歩の春を待たず年々の経緯はしりしり

吾も一歩一歩の春を待たず年々の経緯はしりしり

吾も一歩一歩の春を待たず年々の経緯はしりしり

吾も一歩一歩の春を待たず年々の経緯はしりしり

吾も一歩一歩の春を待たず年々の経緯はしりしり

吾も一歩一歩の春を待たず年々の経緯はしりしり

吾も一歩一歩の春を待たず年々の経緯はしりしり

吾も一歩一歩の春を待たず年々の経緯はしりしり

吾も一歩一歩の春を待たず年々の経緯はしりしり

吾も一歩一歩の春を待たず年々の経緯はしりしり









八子子



乙卯年二月廿一日

白濁五年十二月廿一日其由... 錯疑... 始...

乙卯年二月廿一日

Handwritten text in columns, including names like 梅子, 梅古, 梅一, and other characters. Some characters are written in a larger, bolder style, possibly indicating emphasis or specific names.

乙卯年二月廿一日

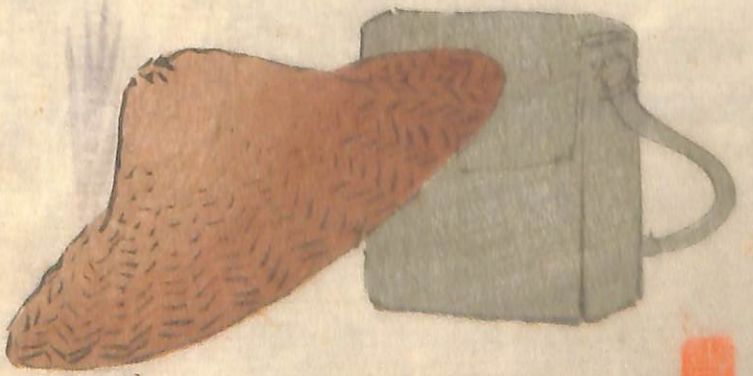
白紙に書かれた文字の残片や、右側の縁に記された小さな文字が、この巻の構成や内容を示している。

其用

竹を

竹を

竹を



八五代集方より  
時更しり萬葉のりしは元々徳治二百年此  
出で矯正せしむるは時更しり身よりさき松室春也  
止まりり早し文極のさしはるるは時更しり  
物わりのさしはるるは時更しり  
あるはるるは時更しり  
竹本舎のりしはるるは時更しり  
社り竹の子をさしはるるは時更しり  
才所道広進の雅君をさしはるるは時更しり  
結を執るるは時更しり  
竹治の竹をさしはるるは時更しり  
玉を添へらるるは時更しり

竹本舎人法

真南寺宇近道

天皇三三坊 地

不言史

吾谷 五治 山

一覽 有 吾谷 五治 山 不言史

Handwritten text in vertical columns, likely a list or record, including names like 山, 五治, 吾谷, and other characters.

德 百五ノ近道

Handwritten text in vertical columns on the left page, including names like 德, 百五ノ近道, and various characters.









其角

吉子



懐  
徳  
園

夜宮卷宗子選

甲子

福年... 夜宮卷宗子選... 懐徳園

錦

おきくらとや 錦の香書き 錦の香書き 錦の香書き  
おきくらとや 錦の香書き 錦の香書き 錦の香書き  
おきくらとや 錦の香書き 錦の香書き 錦の香書き  
おきくらとや 錦の香書き 錦の香書き 錦の香書き

天 錦 女 地 錦 女 地 錦 女 地 錦 女 地

おきくらとや 錦の香書き 錦の香書き 錦の香書き  
おきくらとや 錦の香書き 錦の香書き 錦の香書き  
おきくらとや 錦の香書き 錦の香書き 錦の香書き  
おきくらとや 錦の香書き 錦の香書き 錦の香書き

おきくらとや 錦の香書き 錦の香書き 錦の香書き  
おきくらとや 錦の香書き 錦の香書き 錦の香書き  
おきくらとや 錦の香書き 錦の香書き 錦の香書き  
おきくらとや 錦の香書き 錦の香書き 錦の香書き

鳳尾園宗近運

おきくらとや 錦の香書き 錦の香書き 錦の香書き  
おきくらとや 錦の香書き 錦の香書き 錦の香書き  
おきくらとや 錦の香書き 錦の香書き 錦の香書き  
おきくらとや 錦の香書き 錦の香書き 錦の香書き

文羅菴先生源

おきくらとや 錦の香書き 錦の香書き 錦の香書き  
おきくらとや 錦の香書き 錦の香書き 錦の香書き  
おきくらとや 錦の香書き 錦の香書き 錦の香書き  
おきくらとや 錦の香書き 錦の香書き 錦の香書き



一、  
 二、  
 三、  
 四、  
 五、  
 六、  
 七、  
 八、  
 九、  
 十、  
 十一、  
 十二、  
 十三、  
 十四、  
 十五、  
 十六、  
 十七、  
 十八、  
 十九、  
 二十、  
 二十一、  
 二十二、  
 二十三、  
 二十四、  
 二十五、  
 二十六、  
 二十七、  
 二十八、  
 二十九、  
 三十、  
 三十一、  
 三十二、  
 三十三、  
 三十四、  
 三十五、  
 三十六、  
 三十七、  
 三十八、  
 三十九、  
 四十、  
 四十一、  
 四十二、  
 四十三、  
 四十四、  
 四十五、  
 四十六、  
 四十七、  
 四十八、  
 四十九、  
 五十、

晋 道 先生 傳 記

一、  
 二、  
 三、  
 四、  
 五、  
 六、  
 七、  
 八、  
 九、  
 十、  
 十一、  
 十二、  
 十三、  
 十四、  
 十五、  
 十六、  
 十七、  
 十八、  
 十九、  
 二十、  
 二十一、  
 二十二、  
 二十三、  
 二十四、  
 二十五、  
 二十六、  
 二十七、  
 二十八、  
 二十九、  
 三十、  
 三十一、  
 三十二、  
 三十三、  
 三十四、  
 三十五、  
 三十六、  
 三十七、  
 三十八、  
 三十九、  
 四十、  
 四十一、  
 四十二、  
 四十三、  
 四十四、  
 四十五、  
 四十六、  
 四十七、  
 四十八、  
 四十九、  
 五十、

其 角 寺 宗 匠 道 通 記

一、  
 二、  
 三、  
 四、  
 五、  
 六、  
 七、  
 八、  
 九、  
 十、  
 十一、  
 十二、  
 十三、  
 十四、  
 十五、  
 十六、  
 十七、  
 十八、  
 十九、  
 二十、  
 二十一、  
 二十二、  
 二十三、  
 二十四、  
 二十五、  
 二十六、  
 二十七、  
 二十八、  
 二十九、  
 三十、  
 三十一、  
 三十二、  
 三十三、  
 三十四、  
 三十五、  
 三十六、  
 三十七、  
 三十八、  
 三十九、  
 四十、  
 四十一、  
 四十二、  
 四十三、  
 四十四、  
 四十五、  
 四十六、  
 四十七、  
 四十八、  
 四十九、  
 五十、

... (vertical text) ...

... (vertical text) ...

小紫学史序

天中一高曾地考考考 (重) 不重

古非 拾得 一林 拾图 小志 宝厚 鬼 重

... (vertical text) ...

... (vertical text) ...

新...  
 古外...  
 天...  
 地...  
 人...  
 松...

融心...道

天...  
 地...  
 人...  
 松...

文...先生

天...  
 地...  
 人...  
 松...

近頃... 長...

前

擇う... 山... 葉...

西ノ...



昭和三十三年三月廿七日

西ノ...

4 2.50  
7 50  
2 1.50  
5  
1 1.50  
6 9 50